



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シャルレ

コード番号 9885 URL <http://www.charle.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥平 和良

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレートサービス部長 (氏名) 高田 博祐

TEL 078-792-8565

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	14,825	1.3	1,202	△0.2	1,244	△1.6	1,053	△8.8
27年3月期第3四半期	14,641	—	1,204	—	1,264	—	1,154	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	54.95	—
27年3月期第3四半期	60.23	—

※当社は、前事業年度より非連結の業績を開示しております。そのため、平成27年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	24,641	21,225	86.1	1,107.47
27年3月期	23,772	20,514	86.3	1,070.36

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 21,225百万円 27年3月期 20,514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期(予想)				25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成27年3月期期末配当金の内訳

普通配当 15円00銭 記念配当 3円00銭

平成28年3月期(予想)期末配当金の内訳

普通配当 15円00銭 特別配当 10円00銭

※配当予想の修正については、本日(平成28年2月10日)公表いたしました「平成28年3月期 配当予想の修正(特別配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,100	2.6	1,000	0.0	1,040	△2.9	1,000	△0.6	52.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	21,034,950 株	27年3月期	21,034,950 株
28年3月期3Q	1,869,485 株	27年3月期	1,869,367 株
28年3月期3Q	19,165,516 株	27年3月期3Q	19,165,664 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期損益計算書関係)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策等を背景に、雇用情勢や企業収益の改善傾向は続き、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

国内レディースインナーウェア市場におきましては、個人消費の底堅い動きが続く中、アジア圏における人件費の上昇や円安にともなう原材料価格の高騰など、依然として厳しい環境が続きました。

このような経営環境のもと、当社は「女性を元気にする日本一のグループ」を目指して、美と健康の事業領域を中心に、他社との差別化を図れる独自性のあるシャルレらしい「もの」や、喜びや感動を与える「こと」の提供を追求してまいりました。また、生涯を通じていきいきと輝いている「ひと」をサポートするため、女性たちに活躍の機会を提供し、地域を活性化することによって、豊かな社会の実現を目指してまいりました。その為に、シャルレらしい高機能、高付加価値の商品の開発、並びに次世代を担うビジネスメンバーの育成や教育、支援等による組織の再活性化に積極的に取り組みました。また、平成27年6月より執行役員制度を導入し、経営の意思決定や監視・監督機能と業務執行機能を分離し、意思決定及び業務執行の迅速化を実現する経営体制を整えております。

衣料品類におきましては、30代から40代層をターゲットにした新ブランド「シャルレセルフピア」を本格展開し、バストの揺れをおさえて大胸筋を鍛える「美意識ブラジャー」や、ウエストやヒップラインを美しく見せる補整機能とソフトな着用感を両立させた「くびれマジックインナー」と「美小尻ショーツ」を定番商品として発売しました。また、既存定番シリーズの「ファークェシリーズ」及び「シャルレラグジャシリーズ」をお客様の声を反映させながら、時代のトレンドに合わせてリニューアル発売を行いました。アウトブランドである「シャルレドレッセ」も、秋冬向けのカットソーやカーディガン、パンツ等を発売し、売上高は好調に推移しました。衣料品類全体としては、既存定番商品による落ち込みもありましたが、新定番商品の売上高が好調に推移し、前年並みの推移となりました。

化粧品類におきましては、高機能エイジングケアラインである「エタリテオーラマージュ」に新たなオリジナル成分を加え、リニューアル発売を行いました。また、新規顧客の獲得と既存顧客のリピート購入につなげることを目的に「エタリテ」のローションを中心とした限定セットを発売しました。しかしながら、化粧品類全体としては、既存定番商品による売上高減少により、前年を下回る結果となりました。

前年に新たな商材として発売しました健康食品類におきましては、「n s (エヌエス)」ブランドとして4種類の商品展開を図るとともに、インターネット等による通信販売を行う「シャルレダイレクトサービス」に「定期お届け便」制度を導入したことや、2015年モンド・セレクションのダイエット・健康製品部門において4種類全てが金賞を受賞し、愛用者の拡大を図ることができました。また、新規顧客を獲得することを目的としたお得なセット商品を発売し、健康食品類全体としては、売上高は好調に推移しました。

営業施策面におきましては、全代理店を対象とした「第32回シャルレ代理店セミナー」を開催し、経営方針や各種施策の共有を図るとともに、代理店との一体感を醸成し、ビジネス活動の意欲喚起に結びました。また、ビジネスメンバー組織の活性化を目的に、単年度のインセンティブ施策を実施するとともに、組織拡大に繋がる教育研修や現場支援に積極的に取り組み、9月よりビジネスメンバーを対象とした「チャレンジコンテスト2015」を実施し、販売活動の意欲向上に繋げてまいりました。

前年に大阪心斎橋に出店しました直営店「シャルレ・ザ・ストア」におきましては、当社商品の試着や美と健康に関する情報発信などのサービスを提供し、過去購入経験のある顧客からの再購入や「シャルレセルフピア」等の新商品の試着を目的とした新規顧客の来店等の成果が見られました。

これらの結果、当第3四半期累計期間における当社の売上高は、既存定番商品の売上高が減少しましたが、衣料品類における新定番商品及び健康食品類の売上高が伸長したことにより、148億25百万円（前年同四半期比1.3%増）となりました。利益面につきましては、販売費及び一般管理費が増加したことにより、営業利益は12億2百万円（前年同四半期比0.2%減）、経常利益は12億44百万円（前年同四半期比1.6%減）、四半期純利益は10億53百万円（前年同四半期比8.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、現金及び預金の減少54億16百万円、有価証券の増加55億32百万円、投資その他の資産、その他の増加6億41百万円等により、前事業年度末に比べ8億69百万円増加して246億41百万円となりました。

負債は、未払法人税等の増加3億11百万円、賞与引当金の減少1億37百万円等により、前事業年度末に比べ1億58百万円増加して34億16百万円となりました。

純資産は、利益配当金3億44百万円、四半期純利益10億53百万円等により、前事業年度末に比べ7億11百万円増加し、212億25百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前事業年度末に比べ、0.2ポイント減少し86.1%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期会計期間において、特別利益として受取損害賠償金を計上したことにより四半期純利益が増加したため、下記の通り平成27年10月28日に公表した平成28年3月期通期業績予想を修正することといたしました。

平成28年3月期通期業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成27年10月28日)	百万円 19,100	百万円 1,000	百万円 1,040	百万円 900	円 銭 46.96
今回修正予想(B)	19,100	1,000	1,040	1,000	52.18
増減額(B-A)	—	—	—	100	—
増減率(%)	—	—	—	11.1	—
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	18,613	999	1,070	1,005	52.47

(注) 上記の業績予想は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成しております。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,139	3,723
売掛金	105	128
有価証券	3,659	9,191
商品	3,594	3,665
貯蔵品	38	37
繰延税金資産	455	455
その他	229	316
貸倒引当金	△49	△44
流動資産合計	17,172	17,473
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,238	1,186
土地	907	907
その他(純額)	281	258
有形固定資産合計	2,427	2,352
無形固定資産		
ソフトウェア	923	860
その他	19	17
無形固定資産合計	943	877
投資その他の資産		
投資有価証券	1,587	1,579
前払年金費用	626	702
繰延税金資産	371	371
その他	649	1,290
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	3,229	3,938
固定資産合計	6,600	7,168
資産合計	23,772	24,641

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	834	978
未払金	950	848
未払法人税等	19	331
賞与引当金	282	145
その他	399	420
流動負債合計	2,487	2,723
固定負債		
売上割戻引当金	213	207
退職給付引当金	383	363
その他	174	120
固定負債合計	771	692
負債合計	3,258	3,416
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	4,897	4,897
利益剰余金	13,326	14,034
自己株式	△1,295	△1,295
株主資本合計	20,528	21,237
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14	△11
評価・換算差額等合計	△14	△11
純資産合計	20,514	21,225
負債純資産合計	23,772	24,641

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	14,641	14,825
売上原価	7,444	7,384
売上総利益	7,196	7,440
販売費及び一般管理費	5,991	6,238
営業利益	1,204	1,202
営業外収益		
受取利息	3	7
有価証券利息	43	11
受取配当金	1	0
貸倒引当金戻入額	1	16
雑収入	12	12
営業外収益合計	62	49
営業外費用		
支払利息	2	1
雑損失	0	5
営業外費用合計	3	7
経常利益	1,264	1,244
特別利益		
投資有価証券売却益	6	-
受取損害賠償金	-	156
特別利益合計	6	156
特別損失		
固定資産除却損	0	0
業務委託契約解約損	13	-
その他	0	-
特別損失合計	14	0
税引前四半期純利益	1,256	1,400
法人税、住民税及び事業税	101	347
法人税等合計	101	347
四半期純利益	1,154	1,053

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

特別利益に計上しております受取損害賠償金156百万円は、当社株主から当社元取締役らに対して提起されました、株主代表訴訟における平成27年10月29日付控訴審判決に基づいて、当社元取締役らの一部から受領した損害賠償金であります。